

全国の高齢者を狙った事件（7月分）

	情報提供団体	事例発生日	内 容
1	滋賀県後期高齢者医療広域連合	平成23年7月4日	栗東市内のパート女性（70）宅に「栗東市役所の社会保険事務局の者」と名乗る男の声で「3月分と4月分の医療控除48,900円が受け取られていない。もったいないので受け取ってください。」などと電話があった。女性は現金自動預払機（ATM）で手続きをするよう言われ、男の指示通り機械を操作したところ、現金約60万円を振り込んでしまった。
2	滋賀県後期高齢者医療広域連合	平成23年7月4日	栗東市の女性（68）宅に「栗東市役所の福祉課」を名乗る者から「5年間の高額医療費がたまっている。あなたの受付番号は9になります。」と電話があり、騙されて金融機関のATMで現金を振り込もうとしたところ、金融機関の職員に止められて被害には至らなかった。
3	山口県後期高齢者医療広域連合	7月初め	山陽小野田市の被保険者宅に男性から「後期高齢者医療の被保険者になると年に一回40,000円が支給される。ついては、振込先の口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。不審に思った被保険者は、何も教えずに電話を切り、山陽小野田市国保年金課に相談した。
4	京都府後期高齢者医療広域連合	平成23年7月13日	市役所の職員と名乗る男性から綾部市内の被保険者（79）宅に電話があり、本人が対応。「医療費が47,000円ほど返ってくるが、書類をみてもらいましたか。」と聞かれた。「見ていない。届いていない。」と答えると、「2,3週間位したら書類を送付するので見てください。」と言われた。また、生年月日、住所、取引銀行、残高、保険の有無、キャッシュカードの有無を聞かれ答えた。
5	東京都後期高齢者医療広域連合	平成23年7月12日	都内の市役所医療保険課の職員のサイトウと名乗る者から、市内在住の被保険者男性（80）宅に電話があり、「過去の医療費の還付金37,550円があるが、今日が還付期限となっている。詳細は0120に電話して確認して欲しい。」との電話があった。指定された番号に電話をかけたところ、サイトウという職員が出て、同じ37,550円という金額を言ったので信用し、銀行名と口座番号を教えたが「またかけ直す。」と言って一旦電話が切れた。しばらくして、また電話があり、「振込みを済ませたので確認をして欲しい。」と言われ、確認に行ったが入金されていない。そのことを伝えるため、電話を何度もかけたが繋がらなかった。
6	滋賀県後期高齢者医療広域連合	平成23年7月26日	守山市の女性（65）宅に、市役所医療福祉課のタカハシと名乗る者から「医療費の特別控除に該当し、約4万円返ってくるが、手続きを忘れておられるようである。現在、市役所での対応はできなくなっているため、社会保険事務局に連絡してください。」などと電話があった。